

「難燃ミライフ」が「2013年“超”モノづくり部品大賞」で奨励賞を受賞

記者各位

当社(社長:一色誠一)の高機能不織布「難燃ミライフ」が、モノづくり日本会議[※]と日刊工業新聞社が主催する「2013年“超”モノづくり部品大賞」で奨励賞に選ばれましたので、お知らせします。

同賞は、わが国のモノづくりの強さを再認識し、産業・社会の発展に貢献することを目的として、「縁の下の力持ち」的存在である部品・部材に焦点を当てた表彰制度です。

「難燃ミライフ」は、当社独自のポリエステル製高機能不織布である「ミライフ[®]」の原料に、ドイツのTrevira社製の難燃性ポリエステル樹脂(TreviraCS)を使用することで難燃化に成功した不織布です。

布や不織布の難燃化には、難燃材の塗布・コーティングなどの処理が一般的ですが、「難燃ミライフ」は素材自体が難燃樹脂でできているので、加工処理が不要でコスト低減が可能となり、難燃材の経年脱落による性能低下の心配もありません。

また、日本防災協会の防災製品認定を取得するとともに、米連邦政府の定める自動車安全基準(FMVSS302)にも合格している製品です。

今後は、難燃性能と独特の意匠性を活かし、劇場、病院などの公共施設、ホテルで使用するインテリアや、船舶・車両用など、防災性が求められる用途へ展開してまいります。

※モノづくり日本会議:持続可能なモノづくり社会を築こうと、全国から1800社を超える企業が参加し設立された団体。

<“超”モノづくり部品大賞概要>

主催:モノづくり日本会議、日刊工業新聞社

対象:機械、電気・電子、自動車、環境関連、健康・医療機器、生活関連

贈賞式:2013年11月20日(水) ヒルトン東京にて(予定)

<難燃ミライフ>

着火後、通常のミライフ[®](左)が燃えるのに対し、難燃ミライフ(右)はすぐに自然消火する。

以上

● 別添資料

 「難燃ミライフ」の概要(PDF:159.7 KB)